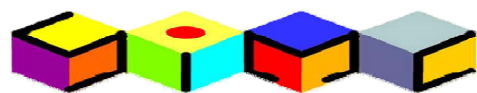


七高SSH通信

H28・7・4
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成28年度 第3号

シンガポール国際数学チャレンジ2016



Singapore International Mathematics Challenge
Exuperior . Expono . Excedo .

5月23日（月）～27日（金）に、本校理数科と交流を行っているシンガポール国立大学付属数理高校（NUS ハイスクール）において、第5回シンガポール国際数学チャレンジ2016（通称 SIMC : Singapore international mathematics challenge)が行われ、本校生徒4名が参加しました。

参加したのは、3年理数科の大村くん、徳楽くん、2年理数科の青木くん、古木くんの4人で、七尾高校としては3回目の参加でした。世界31カ国63校が参加したこの大会で、各チームが2日間で問題に対する英語のレポートを完成させます。レポート提出の翌日には評価者を変え3回英語でプレゼンテーションを行うという形式で、「効率の良いネットワークケーブルの配置」など難解なテーマに挑戦しました。惜しくも賞は逃しましたが、生徒たちは堂々と素晴らしいプレゼンを行いました。



SIMCとは？

シンガポール国際数学チャレンジ、通称 SIMC とは、シンガポール共和国で行われている国際的な数学イベントで、世界中から優秀な学生を集め、数学的モデリングに挑戦し、彼らの創造性と数学的能力、スキルを競うことを目的として隔年で開催されている大会です。また、コンペティションだけでなく、国を超えての専門的交流を図ることも目的のひとつであり、シンガポール教育省と科学技術庁の支援を受けて今年で5回目の大会となります。今回は、アメリカ、ロシア、中国など31の国と地域から63校、日本からは本校と東工大附属科学技術高校、立命館高校、横浜サイエンスフロンティア高校、奈良高専の5校が参加し、数学の力を競い合いました。



課題に取り組んでいます



会場の様子



プレゼンの様子



生徒の感想

OSIMCを通して、将来国際的に活躍するためには、今のままではダメなのだとわかった。学力は大切だが、それを実際の生活や問題に活かせる応用力、人に伝えるコミュニケーション力やプレゼン力、世界情勢への知識も必要と感じた。次に出場する人には、練習の段階から問題を解くだけでなく、そのプロセスをしっかりと意識して、人に伝えられるようにしてほしいと思う。

○悔しいです。初めて英語を使って、数学の問題を解いたので知らない単語がたくさんあり、問題が非常に理解しにくかったです。また、問題自体も現実的なのですが、とても難しかったです。しかし、優勝したチームの解答を見ると、本当に素晴らしく、格の違いを見せつけられました。SIMCに出場したということに糧にこれから頑張っていきたいです。

○様々な国の生徒と交流できたことは貴重な体験になった。また、チャンピオンのプレゼンを聞いて、世界の高校生のレベルの高さを知ることができたのは、よい刺激になった。数学・科学の分野を世界の視点から見ることは、将来の進路選択の参考になると思う。英語面では、会話を聞き取れないことが多かった。リスニング力の必要性を感じた。英語の問題文を理解する難しさを感じた。

スーパー数学ゼミ

スーパー数学ゼミは、1年生理数科でのみ実施されている特別な授業の一つです。

内容は、整数論、組み合わせ、数学幾何、代数の4つのテーマについて、4グループにわかれ、グループごとに少人数で学びます。正解することよりも、正解に至るまでの一人ひとりの考え方を大切にしています。じっくりと考える姿勢を身に付け、お互いに発表し合うことで、色々な考え方、解き方があることを学びます。

